事業シート（令和9年度予算）

事業名	61100　物産宣伝推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント				
					項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	Ⅱ　いとなみを育てる 「ものづくりのまち」を確立します
担当課	商工労働部　商工振興課	内線	2213		目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市内の特産品の販路拡大や市内商工業の振興を図る。	概要	・高山市産業振興協会が実施する飛騨高山展等への補助金の交付 ・新作土産品及び推奨土産品の審査・公表、推奨土産品登録証紙によるPR等の実施

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
第2次産業の市内総生産額（年間）	（R4） 705億円		617億円
第3次産業の市内総生産額（年間）	（R4） 2,331億円		2,540億円

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費 （職員人件費を除く）		R7		R8			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)−(a)
		16,130	8,272	9,440			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		16,130	8,272	9,440			
新規・拡充	主な事業内容						
	飛騨高山展の開催に対する助成	8,000	2,000	5,000			
	土産品振興奨励制度の推進	390	117	410			
	産業振興協会の活動支援	360	360	360			
	高山市産業振興協会の組織強化に対する助成	3,000	3,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算		実施計画額	13,200
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)−(c)
10,467			1,027
10,467			1,027
要求額	説明		
4,500			
410			
360			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・京王百貨店新宿店において飛騨高山展を開催（令和7年6月） ・土産品振興奨励審査会を開催し、推奨土産品登録証紙や市ホームページ等により市民、観光客にPR 新作土産品審査会の結果（奨励賞4点） 推奨土産品の登録（新規21点、継続53点）	
評価等	・首都圏での飛騨高山展開催や各種イベントに参加するなど地域産品の販路拡大につなげた。 ・飛騨高山ブランドの認知拡大と販売促進を行うため、高山市産業振興協会によるオンラインショップのサイトの魅力、認知度の向上に向けた取り組みを進めた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・物産展開催にあたっては、顧客ニーズの多様化なども踏まえ、新商品の開発の取組等も促進しながら、より効果的な物販・宣伝に向けて取り組む必要がある。 ・市内で開発・生産される土産品は市のブランドイメージを構成する重要な要素であることから、次年度以降も事業を継続する。 ・高山市産業振興協会が運営するECサイトの更なる活用促進のための取り組みを進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	61105　伝統的工芸品産業等振興事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり		
担当課	商工労働部　商工振興課	内線	2213		項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	Ⅱ　いとなみを育てる 「ものづくりのまち」を確立します
					目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・伝統的工芸品産業等の伝統技術を守り伝えていくとともに振興を図り、市内産業全体の活性化を図る。	概要	・伝統的工芸品産業・伝統建築産業等の後継者育成に対する助成 ・飛騨伝統的工芸品産業振興協議会に対して負担金を交付 ・飛騨春慶連合協同組合及び飛騨一位一刀彫伝統工芸士会が行う事業に対して補助金を交付、原材料の共同購入資金を貸付 ・飛騨高山の名匠の認定制度の運用

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		38,505	37,096	48,675			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（飛騨高山ふるさと基金繰入金、貸付金元金　　）	11,800	11,800	37,800			
一般財源		26,705	25,296	10,875			
新規・拡充	主な事業内容						
	飛騨高山の名匠認定の推進	660	547	660			
○	伝統的工芸品産業・伝統建築の後継者育成に対する助成	23,670	23,434	30,440			
	原材料共同購入資金の貸付	10,800	10,800	8,800			
	伝統的工芸品産業団体等の活動支援	1,400	491	1,400			
	飛騨産漆生産に向けた取組み	1,400	1,354	1,800			
	伝統的工芸品の海外販路拡大への支援			5,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			39,300
39,967			△ 8,708
2,000			△ 35,800
37,967			27,092

要求額	説明
662	
30,320	
2,000	
1,400	
1,820	
3,200	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・飛騨高山の名匠認定　16名 ・伝統的工芸品由来産業技術修得研修者（後継者育成事業）　2事業所4人 ・伝統建築産業技術修得研修者（後継者育成事業）　14事業所20人 ・伝統的工芸品産業技術修得研修者（独立支援補助）　1人 ・伝統的工芸品産業技術修得研修者（道具等購入補助）　2人 ・飛騨春慶連合協同組合、飛騨一位一刀彫協同組合に対する原材料共同購入に対する貸付 ・飛騨の伝統的工芸品展の開催（令和7年11月） ・飛騨漆の森プロジェクトによる漆山育成事業への支援（補助金） ・市有林（漆山）の除伐による漆育成環境の整備（2回）	
評価等	・伝統的工芸品産業等の後継者育成事業補助金は、飛騨春慶（塗師）において研修を終えた1名が独立し工房を構えたのに加え、伝統的工芸品由来産業で2名、伝統建築産業で6名が研修をはじめるなど、後継者の確保につながっている。 ・飛騨高山の名匠認定制度については、16名の名匠の認定につながった。今後も本市の産業のさらなる振興と後継者の育成につなげていく必要がある。 ・飛騨産漆の確保および活用に向け飛騨春慶連合協同組合と民間事業者が主体的に連携して取り組む「飛騨漆の森プロジェクト」への支援によって、漆の植栽が図られた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・引き続き、後継者育成事業補助制度の運用による後継者の確保や、飛騨高山の名匠認定制度による高度な技術を有する職人のPRと後継者の育成、伝統的工芸品展開催による産品の認知度向上を図る。 ・全国的に国内産漆の確保が難しい状況となっており、市内の関係団体等と連携した飛騨産漆の生成に取り組む必要がある。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・伝統建築産業研修者支援の拡充に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	61110　商工会議所等助成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		
					款	6	商工費			ポイント		
					項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション
担当課	商工労働部　商工振興課	内線	2213		目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業

根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・高山市内の事業者への経営指導、経営相談により、市内の商工業の振興を図る。	概要	・高山商工会議所の事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の事業費に対する助成 ・商工会の事業費に対する助成

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
第2次産業の市内総生産額（年間）	（R4） 705億円		617億円
第2次産業の事業所数	（R3） 1,153件		－
第3次産業の市内総生産額（年間）	（R4） 2,331億円		2,540億円
第3次産業の事業所数	（R3） 4,841件		－

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費 （職員人件費を除く）		R7		R8			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		30,410	28,894	33,300			
特定財源	国費（　）						
	県費（　県委譲事務交付金　）	102	102	102			
	その他（　）						
一般財源		30,308	28,792	33,198			
新規・拡充	主な事業内容						
	商工会議所の活動支援	1,700	927	1,700			
	商工会議所の相談事業に対する助成	4,110	4,106	4,120			
	商工会の活動支援	24,600	23,861	27,480			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算		実施計画額	30,500
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
34,372			1,072
130			28
34,242			1,044

要求額	説明
1,700	
4,364	
28,308	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・高山商工会議所の事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対する助成 ・商工会の運営費に対する助成	
評価等	・中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援を行い、市内産業の活性化に寄与した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・中小企業者の持続的な発展による市内産業の活性化のため、中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援産業を継続する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	61130　地場産業振興事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント				
					項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	
担当課	商工労働部　商工振興課	内線	2213		目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・飛騨地域における地場産業振興および地場産業の健全な育成、発展を図る。	概要	・一般財団法人飛騨地域地場産業振興センターの管理運営に要する経費及び下記事業に対する助成 地場産業総合振興事業費 地場産業活性化対策事業費 地場産業振興事業推進費 地場産業活性化奨励事業費

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		23,673	23,566	23,707			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　地場産業活性化対策事業費1/2、地場産業振興事業推進費1/2　）	4,236	4,236	4,236			
	その他（　　）						
一般財源		19,437	19,330	19,471			

新規・拡充	主な事業内容						
	地場産業振興センターの活動支援	23,673	23,566	23,707			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 23,700 増減 (d)-(c)
23,805			98
4,236			0
19,569			98

要求額	説明
23,805	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・飛騨・暮らしの工芸品展示会事業として、事業者7社と地場産品PRのための展示会を実施（R8年2月 兵庫県神戸市） ・伝統的工芸品等のPRのための展示会を市内で開催（R7年11月 飛騨高山まちの博物館） ・地場産品普及開拓事業として、事業者7社と伝統工芸青山スクエアに出展（R7年12月 東京都港区） ・飛騨地域の優れたものづくりをPRするため、地場産センター1階において企画展を開催（3回） ・地域人材確保・養成事業として、ものづくり技能向上研修を実施（R7年8-R8年1月） ・飛騨の味まつりを春・秋2回にわたり開催（1回目：R7年6月、2回目：R7年10月） ・伝統工芸の後継者を育成するためのインターンシップ事業を実施（応募者22名の中から研修生1名を決定） ・上記事業実施のため、地場産業振興センターの運営等に対し助成	
評価等	・飛騨地域地場産業振興センターが実施する地場産品展示・普及事業や地域人材確保・養成事業、地場産業活性対策事業、地場産業販路開拓事業を支援することにより、地場産業の育成・発展に寄与した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・地場産業の育成・発展のための基幹的な役割を担っている飛騨地域地場産業振興センターが実施する振興策は必要不可欠であるため、今後も当該制度を継続する。 ・飛騨地域地場産業振興センターのあり方や事業の方向性等については関係機関との協議を継続する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	61145　中小企業融資事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント				
					項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	
担当課	商工労働部　商工振興課	内線	2213		目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市内中小企業の経営の安定を図る。	概要	・小口融資制度、経営安定特別資金融資制度の実施 ・保証料補給及び利子補給の実施 ・岐阜県制度融資の実行を受けた事業者に対する助成 ・小規模事業者経営改善資金融資の実行を受けた事業者に対する支援

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
第2次産業の市内総生産額（年間）	（R4） 705億円		617億円
第3次産業の市内総生産額（年間）	（R4） 2,331億円		2,540億円

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費 （職員人件費を除く）		R7		R8			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		956,268	874,774	972,801			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　預託金元金　）	760,000	660,800	840,000			
一般財源		196,268	213,974	132,801			
新規・拡充	主な事業内容						
	県融資制度に対する助成金	66,715	75,210	42,000			
○	小口融資	377,600	299,579	378,000			
○	経営安定特別資金融資	418,860	413,920	522,100			
	小規模事業者経営改善資金融資制度に対する助成	600	539	600			
	新型コロナウイルス対策融資に対する助成	87,535	81,426	30,000			
	原油価格・物価高騰等対策資金融資に対する助成	4,857	4,081				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算			実施計画額	865,600
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)	
1,318,151			345,350	
1,200,000			360,000	
118,151			△ 14,650	
要求額	説明			
30,000				
415,150				
872,200				
700				
	R8事業終了			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・市制度融資の借入に対する支援　利子補給　594件　保証料補給　276件 ・県制度融資の借入に対する支援　利子補給　882件 ・日本政策金融公庫融資の借入に対する支援　利子補給　36件 ・新型コロナウイルス対策　利子補給　359件　保証料補給　14件 ・原油価格・物価高騰等対策　利子補給　61件	
評価等	・市制度融資の借入に対する利子・保証料補給、県・日本政策金融公庫融資に対する利子補給を行い中小事業者の経営の安定化が図られた。 ・新型コロナウイルスの影響を受けた事業者への利子・保証料補給を行い、市内事業者の事業継続につなげた。 ・原油価格の上昇および物価高騰等により影響を受けた事業者が経営安定のために融資を受けた資金について利子補給による支援を行い、事業継続につなげた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・引き続き、各種融資制度の借入に対する利子・保証料補給を行い、中小企業者の経営支援を実施する。 ・新型コロナウイルス感染症への対応として、過年度実行分の伴走支援型特別保証制度への利子補給を継続する。 ・県制度原油価格・物価高騰等対策資金を利用した事業者に対して引き続き利子補給を実施する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・省エネ診断に基づく設備投資を図るための保証料補給に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	61155　道の駅等管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント				
					項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	Ⅱ　いとなみを育てる 農林畜産業を守り、育みます
担当課	商工労働部　商工振興課	内線	2213		目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・高山市の恵まれた自然、歴史、文化資源を生かし、都市との交流及び観光客の誘致並びに地域特産品の生産・販売により、地域の活性化を目指す。	概要	・「道の駅」機能による地域情報の発信と、「付帯施設」における特産品や地元野菜の販売等 ・清見地域で活動しているクラフト作家の作品の常設展示即売や各種イベント会場、地域の集会所としての貸館等

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		137,668	78,191	149,272			
特定財源	国費（　道の駅整備事業費　）	27,000	1,745	34,000			
	県費（　　）						
	その他（　指定管理事業雑入（道の駅）、地方債　等　）	18,672	18,677	54,472			
一般財源		91,996	57,769	60,800			
新規・拡充	主な事業内容						
	道の駅等の運営	74,268	74,701	78,672			
	飛騨街道なぎさの大規模改修			70,600			
○	パスカル清見屋外トイレの改修						
	飛騨街道なぎさ地盤沈下対策	63,400	3,490				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			132,000
212,560			63,288
64,250			30,250
83,572			29,100
64,738			3,938

要求額	説明
79,059	
128,501	継続費：R8～R9
5,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・道の駅8駅を施設管理委託 ・道の駅付帯施設6施設及びウッドフォーラム飛騨を指定管理委託 ・施設の老朽化に伴う修繕工事の実施及び各種備品の更新 ・道の駅飛騨街道なぎさ地盤沈下にともなう擁壁補強工事（継続事業：R7～R8）	
評価等	・地域の特産品の販売拠点として地場産業振興に寄与している。 ・一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、引き続き今後のあり方を検討していく必要がある。 ・飛騨街道なぎさの地盤沈下対策としての擁壁補強工事に着手し、地盤の安定化を図っている。	
次年度以降の考え方（担当課）	・地域の特産品開発、販売の拠点機能をもつ道の駅の機能は、ほかに類似する施設もないことから、今後も運営を継続していく。 ・施設の老朽化等により、経営に支障をきたす恐れもあるため、計画的に維持・修繕工事を行う。 ・飛騨街道なぎさについては、擁壁補強工事完了後、大規模改修に着手する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・飛騨街道なぎさの大規模改修及びパスカル清見屋外トイレの改修に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	61160　商工関係団体支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり		
					項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	
担当課	商工労働部　商工振興課	内線	2213		目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・地域経済を支える中小企業をはじめ、産業団体や地場産業等の振興を図る。	概要	・飛騨木工連合会の事業に対する助成 ・発明くふう展、木工工作コンクール等に対する助成 ・産業団体等が行う自らの経済活動の維持と市内産業の活性化を図る事業に対する助成

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
第2次産業の市内総生産額（年間）	（R4） 705億円		617億円
第3次産業の市内総生産額（年間）	（R4） 2,331億円		2,540億円

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費 （職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		10,730	8,017	25,700			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（ 飛騨高山ふるさと基金繰入金　　）			11,000			
一般財源		10,730	8,017	14,700			
新規・拡充	主な事業内容						
	各種団体等の活動支援	700	120	700			
	飛騨の家具フェスティバル開催に対する助成	9,400	7,562	9,400			
	酒米価格高騰に伴う酒蔵への助成			15,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 10,800 増減 (d)-(c)
10,672			△ 15,028
			△ 11,000
10,672			△ 4,028

要求額	説明
700	
9,400	
	R8事業終了

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・発明くふう展の開催等に関する経費に対する助成 ・各種商工団体への負担金および補助金の交付	
評価等	・各種商工関係団体の取り組み支援を通じて市内産業の振興に寄与することができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・補助金の効果検証を行い制度の見直しを行うとともに、引き続き関連団体との連携を一層強化して商工振興施策を推進する。 ・酒米の急激な価格高騰対策として、市内酒蔵に対し、酒米購入費用への補助を行う。	☐ 維持・改善 ☑ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	61165　地域経済戦略事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント				
					項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	
担当課	商工労働部　商工振興課	内線	2213		目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・地域経済のヒト、モノ、カネの流れを客観的に把握し、産業構造など地域の特性や強みを活かした施策の実現につなげる。 ・新たな魅力ある商品等を開発することを促進し、市内産業の振興を図る。 ・省エネ設備の導入を促進し、市内事業者の経営基盤の強化を図る。	概要	・産業連関表の分析結果などを活用した新たな産業施策の立案及び課題解決のための調査研究の実施 ・新商品開発等に関するセミナーの開催 ・食料品等の新商品開発および既存商品の改良に要する費用に対する助成 ・省エネ診断に要する費用に対する助成

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
雇用者１人あたりの雇用者報酬（年間）	（R4） 4,115千円		4,300千円
就業者１人あたりの市内総生産額	（R3） 6,302千円		7,800千円
市際収支	－		－

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費 （職員人件費を除く）		R7		R8			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		2,221	1,854	5,120			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		2,221	1,854	5,120			

新規・拡充	主な事業内容						
	課題解決に向けた専門家派遣、セミナー開催に係る費用	530	163	520			
	新商品の開発等に対する助成	1,691	1,691	4,600			
○	省エネ診断費用に対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算			実施計画額	2,000
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)	
4,640			△ 480	
4,640			△ 480	

要求額	説明
640	
3,500	
500	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・新商品開発等に関するセミナーを開催（1回）　14事業者、21名の参加 ・市内飲食料品製造事業者が行う新商品開発および既存商品の改良の取組に係る経費の補助を実施 ○計画認定　13件 新商品開発　10件、既存商品の改良　3件 ○補助金申請（事業完了後に申請）　5件 新商品開発　4件、既存商品の改良　1件	
評価等	・当初の予想を超える補助申請があり、新たな魅力ある商品の創出や既存商品の改良につながった。 ・新商品開発セミナーの参加を通じて、新商品開発等の事業計画承認申請の提出があるなど、新商品開発等への意識醸成につながった。	
次年度以降の考え方（担当課）	・地域経済の動向を把握するため、関係団体・事業者等からの情報収集や意見交換に取り組むとともに、必要に応じ専門家の活用を行う。 ・市内事業者の稼ぐ力を高めるため、引き続き、新商品開発等への支援を実施する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・中小企業の省エネ診断費用への支援に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	61167　中小企業新技術導入事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント				
					項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	
担当課	商工労働部　商工振興課	内線	2213		目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・中小企業の新技術・新生産方式の導入を促進し、商品・サービスの高付加価値化や生産性の向上を図る	概要	・市内事業者のデジタル技術活用による生産性向上に資する取り組みへの助成

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		10,665	10,665	10,000			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　飛騨高山ふるさと基金繰入金　）						
一般財源		10,665	10,665	10,000			

新規・拡充	主な事業内容	R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
○	中小企業における新技術導入への支援	10,665	10,665	10,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / R9予算 増減 (d)-(c)
			9,000
12,000			2,000
12,000			2,000

要求額	説明
12,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・デジタル技術を活用し、生産性を向上させる取り組み等を実施する市内事業者に対する助成（54件）	
評価等	・デジタル技術活用促進支援事業補助金の実施により、市内事業者のデジタル技術の活用促進に寄与し、生産性向上、人手不足への対応、働き方改革の推進につながった。	
次年度以降の考え方（担当課）	・デジタル技術の活用による、市内事業者の生産性向上、人手不足への対応、働き方改革への取り組みを一層促進するため、次年度以降についても補助を継続する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・情報セキュリティの向上に向けた取り組みへの支援に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	61180　事業承継支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり		
担当課	商工観光部　商工振興課	内線	2213		項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・ブロモーション	市長公約	Ⅱ　いとなみを育てる 「ものづくりのまち」を確立します
					目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・円滑な事業承継を推進することにより、市内事業者の有する技術や販路、ブランド力などの次代への継承を図る。	概要	・事業承継のための融資に係る利子・保証料の補給及び事業者情報の公開等により、市内事業者の円滑な事業承継及び事業承継を契機とした経営基盤の強化を支援

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
第2次産業の市内総生産額（年間）	（R4） 705億円		617億円
第3次産業の市内総生産額（年間）	（R4） 2,331億円		2,540億円

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費 （職員人件費を除く）		R7		R8			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		12,272	12,271	11,500			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　飛騨高山ふるさと基金繰入金　）	4,000	5,000	8,000			
一般財源		8,272	7,271	3,500			
新規・拡充	主な事業内容						
	事業承継関連制度融資等の借入れに対する助成	11,792	11,791	11,000			
	事業承継マッチングサイトの活用	480	480	500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算		実施計画額	10,000
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
19,010			7,510
			△ 8,000
19,010			15,510

要求額	説明
18,510	
500	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・事業承継推進委員会を開催し、事業承継における課題等の情報共有及び意見交換を行った。 ・事業承継関連融資に係る利子・保証料の補給を行った。（保証料補給5件、利子補給28件） ・事業承継のインターネットマッチングプラットフォームに事業の承継を検討している事業所を掲載し、マッチングに努めた。	
評価等	・事業承継関連融資に係る助成制度を運用することで、市内事業者の円滑な事業承継に寄与した。 ・マッチングプラットフォームを活用することで、市内事業者の事業承継を支援した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・円滑な事業承継を支援するため、引き続き事業承継関連融資に利子・保証料補給制度を運用し、支援する。 ・事業承継マッチングサイトを活用し、市内小規模事業者等の事業承継を推進する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	